

会誌編集委員会

女子部

Number
43

いろいろな立場と孤立

三菱電機 八田 夏美

大変ありがたいことに、本連載の執筆をする2度目の機会をいただきました。出版物に自分の考えを寄稿できる機会は貴重であり、光栄に思います。本連載をはじめ、ここ数年で、書籍・テレビやインターネットでいろいろな立場の女性が発言する機会が増えていると思います。

個人的に、最近目にした中で印象的だったニュースがあります。「子育てしながら大学に通うお母さん学生^{☆1}」という立場と、「16年間子育てエッセイ漫画を描いてきたお母さん漫画家^{☆2}」という立場です。前者のニュースでは、子育てと学業の両立に悩み、孤立していると感じた女性が、育児の悩み相談や意見交流をするサイトを立ち上げたことを報じていました。後者は、子育て中の女性を勇気づけてきた育児漫画が連載を終了するというニュースでした。漫画の登場人物は著者の一家がモデルであり、読者からは、作品に対して主人公の「かあさん」に共感した、人生の考え方に励まされた、という声が寄せられたそうです。

☆1 NHK ニュースおはよう関西, 2017年7月13日

☆2 ダ・ヴィンチニュース, 西原理恵子『毎日かあさん』連載終了に反響続々「人生」に対する姿勢に励まされた, 2017年5月25日

読者の皆さんも、学生や教授や会社員など、いろいろな立場にあると思います。誰にとっても、同じ立場の人と出会うことができるのは幸せなことですし、孤立していると感じることは辛いことだと思います。しかし、自分の立場に孤立を感じても、同じ立場の人を見つけることや、そのために発言することが容易でないことは自明でしょう。かくいう私も、同じ立場の人が身近におらず寂しい思いをしました。私は、前回の執筆から今回の執筆の間に、関西異動をし、結婚して姓が変わりました。初めての土地での新生活ですし、仕事内容も変わりました。よく聞く状況ではありますが、日々の仕事や生活に追われながら、励ましあえる同じ立場の人を探すことは難しいことだと身を持って知りました。

本連載で多くの方が仰っていることですが、やはりまだこの分野で、女性は少数派だと思います。つまり、男性に比べて、自分と同じ立場の人を見つけづらいといえるでしょう。本連載を、同分野にいる女性のいろいろな立場や考えを聞ける場として読んでいただけると嬉しく思います。そしてまた、それは、本連載の意義の1つではないでしょうか。

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約160名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙またはWebページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371